

周恩來

知識人の問題についての報告

外文出版社
北京

外文出版社
中華人民共和國北京
1 9 5 6

周 恩 来

知識人の問題についての報告

1956年1月14日、中國共產党中央委員会の
召集した、知識人の問題についての会議にて

外文出版社
北 京

同志諸君！

知識人にたいする党の指導を強め、科学・文化活動の全分野にたいする党の指導を強めるために、中央委員会は、会議を召集して知識人の問題を討議することを決定しました。

中央委員会のこの決定は、中央委員会が全党を指導して保守思想に反対し、過渡期の基本任務の完成にむかつて努力する全闘争の一部をなすものであります。

諸君も御存知のとおり、一九五五年には、毛沢東同志の首唱にもとづいて、党中央は党内の右翼的な保守思想にたいして、一連の闘いをおこなつてきました。この一連の闘いのもつとも重要な成果としては、つぎにあげるようなものがあります。すなわち、反革命分子を肅清する運動が機関の内部において、また一般社会において、段取りをおつて徹底的にくりひろげられ、今後二ヵ年内に、全國にわたつてほぼ完成される見通しがついていること。農業協同化の運動が、大衆の自覚の急速な高まりのうえに立つてめざましい躍進をとげ、今年中には全國にわたつて半社會主義的協同化がほぼ完成されるばかりでなく、現在ではまた完全な社會主義的協同化にむかつて発展しつつあること。資本主義的工商業の全業種にわたる公私共営化が急速に發展し、これまた今年中に、全國にわたつてほぼ完成される可能性を充分にもつてゐること。國民經濟發展のための第一次五ヵ年計画が、全般的に繰上げ完成あるいは超過完成されることになつております。いくつかの生産部門では、

一九五六年に一九五七年の生産計画をやりとげることができると、その他の各部門でも五ヵ年計画の繰上げ完成あるいは超過完成の見通しがついていることなどあります。

すべてこれらの巨大な驚嘆にあたする成果は、一年前まではまだ想像もつかなかつたものであります。もし右翼的な保守思想にたいする闘争をくりひろげていなかつたならば、こうした成果をおさめることは、今日にいたつてもなお不可能だつたであります。右翼的な保守思想がわが党内にどれほど大きな危害をあたえているかは、これによつてみてもよくわかるのであります。

右翼的な保守思想に反対する闘争の基本的な要求は、わが國の人民民主独裁をさらに強め、発展させ、社会主義的改造を予定よりも早目にやりとげ、國家の工業発展計画を超過完成し、國民経済の技術改造の速度をはやめることにあります。この闘争は大きな、世界的な意義をもつています。六億の人口を擁する大國であるわが國において、これらの任務をくりあげ完成し、また任務遂行の速度を早め、これらの任務をより多く、よりすみやかに、より良く、より經濟的に完成し、遂行することができるならば、それは社会主義陣営全体の力を、いつそうすみやかに、大々的に強めることとなり、われわれが新しい戦争の爆発を阻止するうえにいつそう有利になるのであります。かりにもし血まよつた侵略者どもがあえて新しい戦争をおこそっとしても、われわれは今よりいつそう有利な地位に立つであります。このために、党中央は、右翼的な保守思想に反対することを

党の第八回全国大会の中心問題とし、全党がこの鬭争をすべての部門でくりひろげるよう要求することを決定したのであります。

知識人の問題は、つまりこうした事情にもとづいて持ち出されたものであります。では、知識人の問題は、われわれの当面している、社会主義建設の速度を早める任務と、一体どういう関係にあるのか。

われわれが社会主義經濟を建設しなければならないわけは、結局のところ、社会全体のたえず高まつてゆく物質的、文化的需要を最大限度に満足させるためであつて、この目的を達するためには、社会の生産力をたえず発展させ、労働の生産性をたえず高めてゆかねばならず、高い技術の上に立つて社会主義的な生産をたえず増大させ、たえず改善してゆかねばなりません。したがつて、社会主義の時代には、充分に生産技術を高め、充分に科学を發展させ、科学知識を利用する事が、これまでのどの時代よりもいちだんと強く要求されるのであります。したがつて、われわれがより多く、よりすみやかに、より良く、より経済的に社会主義建設を發展させてゆくためには、労働者階級と廣はんな農民の積極的な労働にたよる以外に、なお知識人の積極的な労働にもたよらなければならぬので、これを別の言葉でいえば、肉体労働と頭脳労働の密接な協力にたより、労働者・農民・知識人の兄弟のような同盟にたよらなければならぬのであります。現在われわれ

がすすめつつある各種の建設は、知識人がこれに参加する必要性を日ましにつよめております。たとえば、鉱山を発見するには、地質方面のおおくの専門家たちが、大学の卒業生や中学校、高等学校の卒業生をおおぜいひきつれて各地の荒山や曠野におもむき、そこで測量や一般的調査、専門的調査、ボーリングをおこなわなければなりません。鉱山、工場、鉄道、水利施設を建設しようとねもえは、多くの技師とおびただしい数の技術者に、調査、測量、設計、建築、機械の据付等の仕事をしてもらわなければなりません。工場が生産をおこなうには、製品の設計から製品の検査までのどの生産過程にも、それぞれ一定の水準をそなえた一定数の技術人材が必要であります。工業や商業の管理にはますますいろいろな専門知識が必要となつてきています。近代的な國防を建設しようとすれば、各方面の科学者が必要であります。教師と医師なしには、われわれは学校や医院をもつことができないし、文化や芸術の方面の仕事にたずさわっている人びとなしには、われわれは文化的な生活をたのしむことができないのであります。農村において、農業の機械化と電化が実現されたあかつきには、もとよりおおぜいの農業機械方面の技師、発電所の技師、農学者、会計担当者等々を必要とするであります。げんにいま、一九五六年から一九六七年にいたる農業発展要綱(草案)にふくまれている、これからすぐ着手しなければならないところの多くの課題——たとえば新しい畜力農具、化学肥料、動力ポンプの生産、主要病虫害の一掃、ゆゆしい疾病や獸疫の一掃な

ど——を実現するにも、これまたどうしても科学、技術方面の関係者、植物保護学者、医療方面的関係者、獣医などの積極的な参加にたよらなければなりません。したがつて、知識人はすでにわが國の各方面の生活分野における重要な要素となつていています。そして、知識人の問題を正しく解決し、彼らの力をいつそう充分に動員し、發揮させて、偉大な社会主義建設に奉仕させることもまた、われわれが過渡期の基本任務を完成するうえでひとつの重要な條件となつています。わが党の各部門、党の各級組織は、すべてこの問題を重要視すべきであります。

当面する知識人の問題は何か。当面の根本問題は、われわれの知識人の力が、数量のうえにおいても、業務能力の水準のうえにおいても、社会主義建設の急速な発展の要求にそわない状態にあり、しかもわれわれの現在の、知識人の活用と知識人にたいする待遇のなかに存在しているいくつかの不合理な現象、とくに一部の同志が党外の知識人にたいしていだいているある種のセクト主義的な氣分が、相当程度、知識人が現在自分のもつてている力を充分に發揮するのをさまたげているという点にあるのであります。われわれはかならず、指導を強め、欠陥を克服し、一連の効果的な措置をこうじて、現在の知識人の力を最大限に動員し、發揮させ、たえず彼らの政治的自覚を高め、新しい人材を大規模に養成して知識人の隊伍を拡大してゆき、また出来るかぎりすみやかに彼らの業務能力の水準を高めて、知識人にたいしてたえず高まつてゆく國

家の要求にこたえるようにしなければなりません。これがすなわち、知識人の問題について、わが党が当面している根本的な任務であります。

(一)

知識人の問題にかんする党の任務を討議するには、われわれはまず、知識人のこんにちの状況について考察してみる必要があります。

わが党は從來から一貫して知識人の問題を重要視しています。すでに一九三九年に、党中央は、毛沢東同志の起草した、知識人を大量に吸收することについての決定を採択するとともに、それぞれの抗日根拠地において、これを効果的に実施しました。全國が解放されてからは、党は、全國にわたつて、知識人にたいし、團結・教育・改造の政策を実行してきました。党中央は、革命は知識人を吸收することを必要としており、建設はことにそのことを必要としている、とくに、解放前のわが國が文化的にも、科学的にもたちおくれた國であつたところから、われわれとしてはなおさら、古い社会の残した知識人というこの歴史の遺産を十二分に活用するすべを得て、彼らをわが國の社会主義建設に奉仕させなければならないということを考えております。党中央はまた、わが國の旧時代の知識人は、過去において帝國主義と反動階級のさまざまな影響を受けていふとはいえ、

彼らのなかの大多数の人びとはそれとともにまた帝國主義と國民黨の圧迫をも受け、それがために一部の人びとは革命に参加し、一部の人びとは革命に同情をよせ、多くの人びとは革命にたいして、中立的な傍観の態度をとり、反革命分子はごく少数を占めるにすぎない、事実は、日ましに、中國の知識人に、労働者階級や共產黨とともに歩んでゆく以外に彼らの前途のないことを証明している、したがつて、知識人を結集することは必要であり、まつたく可能なことでもあるということを考えております。こうした認識から出發して、党中央は旧時代の知識人を『全部引き受ける』方針をとり、大多数の人びとにひきづき適當な仕事をあたえ、そのなかの一部の人は責任ある仕事をつけることさえしました。まえから失業していた知識人も就職できるようつとめて援助をあたえたり、その他適宜な措置をこうじたりしました。政治的な面では、党は多くの知識人の代表的な人びとに、この人たちが当然あたえられて然るべき地位をあたえました。党中央は、旧時代の知識人にたいしては、彼らが自己改造をおこなつて地主階級や資本家階級の思想を捨て、労働者階級の思想を受け入れるように援助しなければならぬと思うものであります。この目的のために、党は一連の措置を講じました。党は知識人を組織して土地改革、反革命鎮圧、抗米援朝、『三反』、『五反』の鬪争に参加させ、工場、農村を見学させ、ソ同盟を訪問させ、さまざまの國際的活動に参加させ、また彼らがマルクス・レーニン主義の基礎知識を學習し、ブルジョア觀念論的な物の見方を

批判し、胡風の反革命一味その他の反革命分子に反対して闘い、さらにまた学習のうえに立つて批判と自己批判を展開するのを指導してきました。業務の面においても、党はおおくの措置を講じ、彼らが理論と実際との連関性についての原則を身につけ、ソ同盟の先進的な経験を学び、工作方法を改善し、業務能力を高めるよう援助しました。彼らの大多数は、すでに國家機関の勤務人員となり、社会主義のために奉仕し、労働者階級の一部分となつております。古い知識人を結集し、彼らを教育し、改造してゆくと同時に、党はまた大きな努力をはらつておびただしい数の新しい知識人を養成しましたが、このなかには、すでに相当数の勤労階級出身の知識人がおります。こうしたすべての事柄によつて、わが國の知識界の面貌は、これまでの六年間に、すでに根本的な変化をとげております。

知識人のこんにちの政治状況については、おおくのところで統計をとつておりますが、これらの統計によれば、高級知識人のなかで、積極的に共産党と人民政府を支持し、社会主義を支持し、人民のために奉仕している進歩的な人びとが四〇パーセント内外を占め、共産党と人民政府を支持し、一般に任務は完成できるが、政治的にはあまり積極的でない中間的な人びとがこれまた四〇パーセント内外を占め、この二つが、あわせて八〇パーセント内外を占めています。この約八〇パーセントのもの以外では、政治的自覚に欠けていたり、思想的に社会主義に反対している後れた人た

ちが十何パーセントを占め、反革命分子とその他悪質の者が何パーセントかを占めています。

解放当初とくらべるならば、この変化はきわめて急速なものであります。たとえば、北京、天津、青島にある四つの大学の百四十名の教師についてしらべた統計によれば、これまでの六年間に、進歩的な人びとは一八パーセントから四一パーセントにふえ、後れた人びとは二八パーセントから一五パーセントに減っています。わが國の偉大な社会主義的改造と社会主義建設の事業に直面して、おおくの知識人は、日ましに強い影響を受けざるをえなくなつております。彼らはまた中國の新生ということのなかから、全民族と彼ら自身との相互に結ばれた運命を発見しております。

ここで注意しなければならないことは、知識人の思想状態が、かららずしも彼らの政治的、社会的地位の変化と完全には一致していないという点であります。中間的な人びとはいわずもがな、進歩的な人びとのなかでさえ多くの人がやはり程度の差こそあれ、ブルジョア的な観念論や個人主義の思想や態度をみせております。この外、少なからぬ部門の知識人、とくにそのなかの比較的たちおくれた人びとの変化はひじょうにおそく、このこともまた、こうした人びとの間でのわれわれの活動がきわめて不充分だということをしめしております。

知識人の隊伍は、これまでの六年間に、量的にもひじょうに急速に拡大されております。現在、全國で科学研究、教育、工学技術、衛生、文化芸術その他の仕事にたずさわっている高級知識人

は、約十万人と見つもられておりますが、このうち解放後に増加したぶんの数は、一部の統計資料の示すように、総数の三分の一内外を占めております。いくつかの部門ではとくべつ急速に増加しております。たとえば、地質関係の仕事にたずさわっている人びとは、解放当初には二百人に満たなかつたのが、一九五五年には、地質部、重工業部、石油工業部、石炭工業部の四つの部の統計が示すように、技師だけでも四百九十七人にふえており、大学を卒業した技術者は三千四百四十人に達しております。

解放後六年間の全國の大学卒業生は二十一万七千九百人にのぼっております。かならずしも全部が全部われわれのいうところの高級知識人の水準にかなつたものではないにせよ、これらの人びとは知識界の新しい力であり、専門家の予備軍であります。しかも、おおくの青年たちが、資格の上ではまだ専門家ではないが、実際にはすでに専門家の仕事を担任し、しかも一般的にいつて立派にやりおおせているということを、ここで指摘しておきたいと思います。げんざい大学で教壇に立つている者四万二千人のうち、教授、助教授はわずかに一七・八パーセント、講師は二四パーセント、助手は五八・二パーセントを占めておりますが、一部の助手は現在すでに講義をうけもつております。技術界においても同様であります。各級の技師は現在全國で三万一千人あまりしかおりませんが、大学を卒業した各級の技術者は六万三千六百人という数にのぼっており、そのなかの多く

の人びとは実際には技師の仕事を担任しており、なかには、とつくに技師に昇格させて然るべき人もおります。高級知識人の予備軍としては、なおこのほかに、他の知識人の廣はんな隊伍があり、これらの人びとは、現在、実際の仕事や余暇の独学を通じて、たえず知識の程度を高めていつております。

いわゆる高級知識人と一般知識人との間には、けつして厳密な境界線があるわけではありません。現在すでに統計数字の出ている科学研究、教育、工学技術、衛生、文化芸術の五つの部門の知識人を見ますと、あわせて三百八十四万人という数にのぼつております。これらの人びとは、社会主义建設の事業における大きな力であります。これらの知識人を正しく評價し活用し、彼らのたえまない政治的な進歩、業務上の進歩に計画的な援助をあたえることは、党と國家のきわめて重要な任務であります。私の報告は、高級知識人の問題に重点をおいて述べてますが、そのなかの多くの原則は、一般知識人にもおなじように適用されるものであります。

以上述べたように、わが國の知識人は、今日すでにぼう大な隊伍を形成しております。しかしながら、われわれの國はこんなにも大きく、われわれの建設事業の発展の速度はこんなにも急速であり、今後はまたいつそう急速に発展してゆくであります。したがつて、社会主義建設のさしつた必要を満たしてゆくには、われわれはいつそう急速に知識人の隊伍、とくに高級知識人の隊

伍を拡大してゆかざるをえないのです。新しい人材を養成し、抜てきする面でのわれわれの仕事には、まだ多くの欠陥があり、これらの欠陥が知識人の隊伍のより急速な拡大をはばんでいることを、われわれは認めるべきであります。

わが國の知識人の業務能力も、これまでの六年間にいちじるしく高まつております。全國の大学は教学上の改革をおこない、以前は全國のどこにも見られなかつた学部と専科を新設し、大量の教材を新たに編さんしました翻訳し、教学の質を高めました。全國の科学技術界は地質調査、基本建設の設計と施工、新製品の設計と試作といった各部面でそれぞれぼう大な量の仕事をすすめ、いちじるしい成果をあげました。つとめてソ同盟に学んだ結果、わが國の技術界は、今日すでにおおくの近代的な工場、鉱山、橋梁、水利建設方面の設計、施工の技術を習得し、大型機械、機関車、汽船の設計能力もひじょうに高まつております。一九五二年から一九五五年までの間に試作に成功した新しい機械製品の品目は、約三千五百種類にのぼつており、その一部はすでに世界的な水準に達しております。冶金の方面では、わが國で製鍊できる良質鋼と合金鋼は、すでに二百四十余種類に達しており、わが國の高炉と平炉の利用係数はすでにソ同盟の一九五二年の水準に達しております。理論科学の面では、わが國の数学、物理学、有機化学、生物学のいくつかの部門における成果は、世界の学界からも注目されており、そのなかの一部は、すでに実際の生産に役立つており

ます。

しかしながら、総体的にいつて、わが國の科学と技術は依然としてはなはだたちおくれた状態に
おかれています。世界の科学のおおくの最新の成果がまだ把握、利用できていないだけでなく、
今日わが國の建設のなかに存在しているおおくの複雑な技術問題も、われわれはソ同盟の専門家の
援助なしには、解決することができない状態にあります。しかるにごく最近にいたるまで、われわ
れはわが國の科学・技術水準を高めるための問題について、全面的な計画をたてておらず、それど
ころか、現在もつてているところの力さえ、申し分のないほど効果的には活用していなかつたのであ
ります。技術科学のたちおくれは、理論科学の基礎の弱さと切り離せない関係にありますが、われ
われが投じている力のもつとも少ないので、ほかならぬこの科学研究の分野なのであります。

以上簡単に述べたところからもわかることは、われわれの成果がきわめて大きいこと、だがまだ
少なからぬ欠陥があること、これであります。

では、われわれは知識人の問題について、どのような方針をとるべきか、どのような傾向を防止
し、あらためるべきであるか。

今日、知識人の問題のうえに存在している主要な傾向はセクト主義であります、同時にまた無
神経と妥協の傾向も存在しております。前者の場合には、知識界の政治上、業務上の巨大な進歩を過